

授業概要

上流階級の白人の男性たちの対極におかれ、迫害されてきた黒人、女性、労働者について考えてゆく。エドガー・アラン・ポーを中心に、英語圏における性差・人種観などを検証する。

授業計画

第1回	イントロダクションー文学とは何か
第2回	文学批評理論ー新批評からデコンストラクションまで
第3回	文学批評理論ー新歴史主義からポスト・コロニアリズムまで
第4回	文学批評理論ーカルチュラル・スタディーズとアダプテーション理論
第5回	ポーにおける女たち(1)ー「黒猫」を読む
第6回	ポーにおける女たち(2)ー「アッシャー家の崩壊」を読む
第7回	ポーにおける脅威の猿ー「モルグ街の殺人」から『キングコング』へ
第8回	ポーにおける身体障害者ー「ホップ・フロッグ」「使い切った男」
第9回	南北戦争前の文学とホモソーシャルーナサニエル・ホーソーン『緋文字』を読む
第10回	アメリカ文学におけるクイアーーフィッツジェラルド『グレードギャッピー』の映画比較
第11回	H・P・ラヴクラフト論(1)ークトゥルフ神話における他者
第12回	H・P・ラヴクラフト論(2)ー優生学と人種差別
第13回	文学における進化論ー自然主義文学 ジャック・ロンドンとフランク・ノリス
第14回	文学における人造人間ー『フランケンシュタイン』から『ブレードランナー』へ
第15回	読書終焉の世界ーレイ・ブラッドベリ『華氏416度』
第16回	定期試験

到達目標

英語圏文学における他者を考察することで、これらの作品が書かれた時代の特徴、地域社会や文化を読み解いてゆく。文学を歴史の反映として学習し、異文化理解や、中学校及び高等学校における外国語科の授業のため教養の土台とする。

履修上の注意

マナーを尊重して楽しい授業にしてゆきたいので、積極的な参加を望みたい。大量の資料を配布するのでファイルを持参のこと。時に暴力的な映像を見ることがあるので、苦手な人は注意してほしい。できるだけ普段から関心をもって本を読むように心がけてもらいたい。

予習・復習

配布した資料は事前に予習として必ず読み、授業後に再び読み直してほしい。

評価方法

学期末レポートおよび試験（60%）、提出物およびコメントペーパー（40%）などの総合評価。

テキスト

主にプリントなどの配布資料 また参考文献については適宜指定する。